

平成 20 年度文部科学省〈先導的₁大学改革推進委託〉
調査研究報告書

学生の大学卒業程度の学力を認定する仕組みに関する調査研究

平成 21 年 1 月

関西国際大学 日本高等教育学会

はじめに

我が国では、いわゆる「大学全入時代」を迎え、各大学における卒業・修了判定を厳格に行う取り組みの強化が急務となっている。2008年12月24日に出された中央教育審議会答申「学士課程教育の構築をめざして」の中にもこうした問題意識がはっきりと読み取れる。このような状況における出口管理の取り組みとしては、各大学におけるGPA制度の活用による卒業判定や、主に医学教育の分野で行われている卒業判定試験が行われているが、昨今、大学の枠を超え、民間機関による卒業認定試験の実施等の導入可能性を指摘する声もある。他方、卒業要件単位が揃えさえすれば卒業ができるという大学もある。

本研究事業では、日本高等教育学会との連携協力により、以下のような研究を行い、これからの我が国における大学卒業程度の学力を認定する仕組みについてどのような方向性があるのかを明らかにしようとした。①諸外国の卒業認定の在り方について調査し、卒業時の質保証がどのようなシステムとなっているかを把握すること。②国内の大学の中で、卒業時の質保証について特徴的かつ先端的な取り組みを行っている大学の事例についての情報を収集すること。③国内の各大学がどのように卒業認定を行っているかについての質問紙調査を行い、その現状と課題を明らかにすること。

研究メンバーは下記の通りで、関西国際大学に所属する研究者7人に加え、日本高等教育学会から館昭（理事・事務局長）をはじめ、14人の高等教育学会員が参加してくださったことに支えられ、本調査事業をまとめることができた。この場を借りて感謝の意を表したい。

海外調査は、川嶋太津夫氏（神戸大学）をリーダーとして、連合王国をはじめとする欧州諸国、オーストラリア、アメリカ、中国や韓国と行った東アジアといった諸国における学力保証システムについて、国レベル・高等教育機関レベルごとに調査研究を実施した。

国内調査は吉田文氏（早稲田大学）をリーダーとして、東京女子医科大学、三重大学、金沢工業大学等の各大学の先導的学力保証の取組について聴取り調査を行った。これに加え、大学基準協会、大学評価・学位授与機構、高等教育評価機構等の機関も訪問し、個別大学を超えた仕組みについても聴取り調査を行った。

国内ではこれに加え、国内全大学長・学部長への質問紙調査を実施した。各大学が卒業時の学力保証について、どのような考えをもち、どのような仕組みで卒業判定等の出口管理を行っているかを調査した。

本事業の成果が、これからの日本の高等教育の改革や発展の基本的資料として活用されることを期待したい。

調査研究者

濱名 篤	関西国際大学長（代表者）
舘 昭	桜美林大学大学院大学アドミニストレーション研究科教授
吉田 文	早稲田大学教育・総合科学学術院教授
吉本 圭一	九州大学人間環境学研究院教育学部門教授
川嶋太津夫	神戸大学大学教育推進機構教授
夏目 達也	名古屋大学高等教育研究センター教授
山田 礼子	同志社大学社会学部教育文化学科教授
吉川裕美子	大学評価・学位授与機構学位審査研究部教授
杉本 和弘	大学評価・学位授与機構評価研究部准教授
杉谷祐美子	青山学院大学文学部教育学科准教授
渡辺 達雄	金沢大学大学教育開発・支援センター准教授
小島佐恵子	北里大学一般教育部講師
串本 剛	首都大学東京基礎教育センター助教
白川 優治	千葉大学普遍教育センター助教
香川 順子	徳島大学大学開放実践センター助教
濱名 陽子	関西国際大学教育学部教授
富田 福代	関西国際大学教育学部教授
佐藤 広志	関西国際大学人間科学部教授
藤木 清	関西国際大学人間科学部准教授
陳 那森	関西国際大学人間科学部准教授
吉田 武大	関西国際大学教育学部講師

目 次

序章 課題設定の背景と分析の枠組み (串本剛、香川順子)	1
第一部 海外調査	
第1章 外国調査による知見 (川嶋太津夫)	9
第2章 イングランド (富田福代)	15
第3章 スコットランド (山田礼子)	18
第4章 アイルランド (川嶋太津夫)	23
第5章 フランス (夏目達也)	27
第6章 ドイツ (吉川裕美子)	41
第7章 フィンランド (富田福代)	42
第8章 スウェーデン (川嶋太津夫、富田福代)	47
第9章 アメリカ	
第1節 高等教育の質保証とラーニング・アウトカム (吉田文)	50
第2節 モーガン州立大学 (吉田武大)	56
第3節 ジョージワシントン大学 (吉田武大)	58
第4節 インディアナ大学ブルデュー大学インディアナポリス校 (串本剛、吉田武大)	60
第5節 ジェームス・マディソン大学 (濱名篤)	64
第10章 中国 (陳那森、佐藤広志)	68
第11章 韓国 (渡辺達雄)	75
第12章 EUA (川嶋太津夫、富田福代)	84
第13章 オーストラリア (杉本和弘)	87
第二部 国内調査	
第14章 学長・学部長調査 (吉田文、杉谷祐美子、小島佐恵子、串本剛、白川優治)	99
第15章 訪問調査	
第1節 国内訪問調査の概要と知見 (濱名篤、串本剛)	119
第2節 東京福祉大学 (杉本和弘)	122
第3節 東京女子医科大学 (濱名陽子)	126
第4節 金沢工業大学 (濱名篤)	129
第5節 豊田工業大学 (夏目達也)	141
第6節 三重大学 (杉谷祐美子)	146
第7節 山口大学 (杉谷祐美子)	156
第8節 岡山大学 (香川順子)	165
第9節 金沢大学工学部 (渡辺達雄)	175
第10節 大学評価・学位授与機構 (白川優治、杉本和弘)	181
第11節 高等教育評価機構 (白川優治)	184
第12節 大学基準協会 (白川優治)	190

第 13 節	JABEE (夏目達也)	199
第 14 節	心理学検定 (香川順子)	204
第 15 節	医学教育 (小島佐恵子)	212
第 16 節	卒業 (修了) 試験に関する WEB アンケート (串本剛)	221
終章	おわりに (濱名篤)	223
資料		
	スコットランド	227
	フィンランド	276
	学長・学部長調査	298
	金沢工業大学	382
	岡山大学	388
補追		
	ドイツ (吉川裕美子)	393